

平成29年度統合化推進プログラム

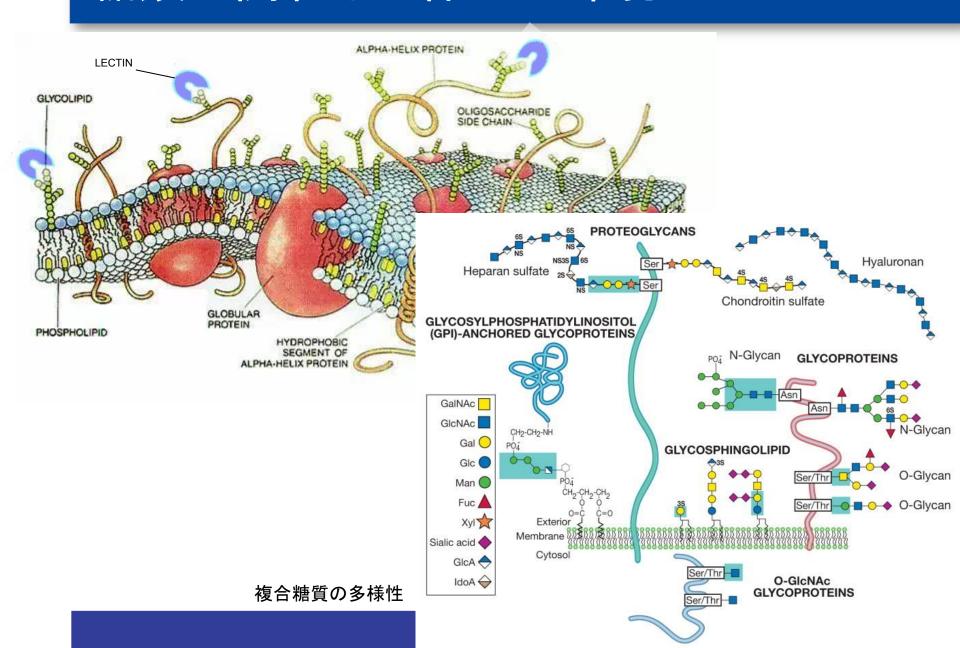
「糖鎖科学ポータルの構築」

代表 創価大学 木下聖子





## 糖鎖が関わる生体内の環境



## 糖鎖研究の位置づけ

米国では 2012 年に米国学術研究会議(the National Research Council of the National Academies)が報告書 Transforming Glycoscience: A Roadmap for the Future (2012) を発表:

糖鎖研究の対象は**医学(Medicine)**にとどまらず、**エネルギー(Energy)**や**材料科学(Materials)**にまで及ぶとしており、これまでこのような大局的な視点で糖鎖研究の将来が位置づけられたことはなかった。

米国ではNIHにおいて、糖鎖に関連する研究が強力に進められている。

一方、世界で使用されている標準的な糖鎖解析法は日本発であり、また重要な糖鎖構造の解析および6割以上の糖鎖遺伝子のクローニングやその機能解析が我が国の研究者によってなされている。したがって、<u>糖鎖科学は我が国が世界をリードしてきた分野</u>である。

しかし、これらの様々な糖鎖遺伝子などについての情報が未だに網羅的に整理されておらず、文献調査以外には糖鎖が関与するパスウェイ情報などが手に入れられない状況である。このような問題を解決するためにGlyCosmos Portalを開発し、これまで糖鎖研究をリードしてきた我が国が中核となって糖鎖科学ポータルを提供する。

## 第5回ACGG-DB 会議 決議事項

## 大連 2013年6月22日

参加国:日本、米国、豪州、ドイツ、ロシア、中国、韓国、台湾

・国際糖鎖リポジトリの基本合意

論文投稿前のアクセッション番号の発行システム

データの範囲糖鎖構造情報のみ(メタデータ:登録者と登録日)



- ・システムのフレームワークプロトタイプは日本の現在のグループで開発
- ・支援と普及促進

糖鎖関連の学会: IGO, ICO, Society for Glycobiology, JSCR, JCGG, HUPO 等

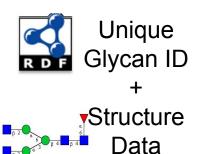
4







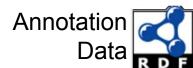


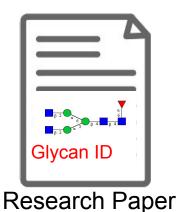




Sharing









Glycan ID



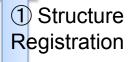
**Alycan Knowledge** via Internet

**Knowledge-Sharing** 

3Manuscript submission



2 Obtain Unique Glycan ID





Glycan Research

## GlyTouCan開発にあたって

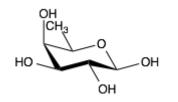
- •糖鎖構造の表現
  - -曖昧性に対応する
  - -任意な文字列で表す
- ・リポジトリのシステム開発
  - -アクセッション番号のシステム
  - -ユーザー登録システム
  - -上記糖鎖構造表記システムの導入
- ・リポジトリの普及



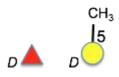
## 糖鎖情報の標準化の必要性

## ・ 単糖表現の曖昧性

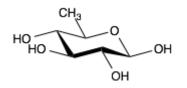
D-Fucose 6-Deoxy-D-galactose



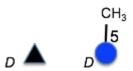
β-D-Fuc*p* 



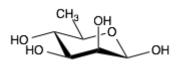
D-Quinovose 6-Deoxy-D-glucose



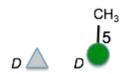
β-D-Qui*p* 



D-Rhamnose
6-Deoxy-D-mannose



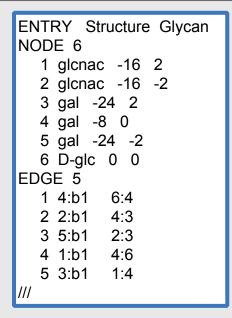
β-D-Rha*p* 

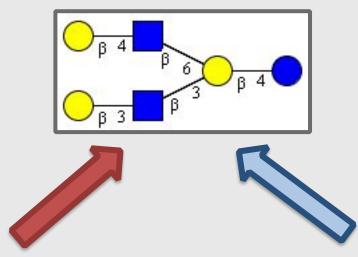


- ・ 微生物や植物の糖類
- ・他の曖昧性の表現様々

### **沙** 創価大学

## Text formats for glycans





```
ENTRY Structure Glycan
NODE 6
  1 GlcNAc -16 -2
  2 Gal -8 0
  3 GlcNAc -16 2
  4 Gal -24 -2
  5 D-Glc 0 0
  6 Gal -24 2
EDGE 5
  1 2:b1
           5:4
  2 1:b1
           2:3
           1:3
  3 4:b1
  4 3:b1
           6:6
  5 3:b1
           2:4
```

Uniquely represent all glycan structures as a text string

Web3 Unique Representation of Carbohydrate Structures\*

<sup>\*</sup>Matsubara M, Aoki-Kinoshita KF, Aoki NP, Yamada I, Narimatsu H. WURCS 2.0 update to encapuslate ambiguous carbohydrate structures. *J. Chem. Inf. Model*, 57(4):632-637, 2017.

## 糖鎖構造表記法 WURCS

WURCS: Web3 Unique Representation of Carbohydrate Structures

- セマンティックウェブを指向した新しい糖鎖構造表記法
- JST・NBDC統合化推進プログラムで開発
- GlyTouCanの基盤として利用
  - 糖鎖構造の同一性
  - 糖鎖構造検索
  - 分子量計算

## **WURCS**



Version 1.0 published in 2014

J. Chem. Inf. Model. 2014, 54, 1558-1566.

New version 2.0 published in 2017

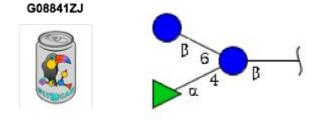
J. Chem. Inf. Model, 57(4):632-637, 2017.

WURCS=2.0/2,3,2/[a2122h-1b\_1-5][a2211m-1a\_1-5]/1-2-1/a4-b1\_a6-c1

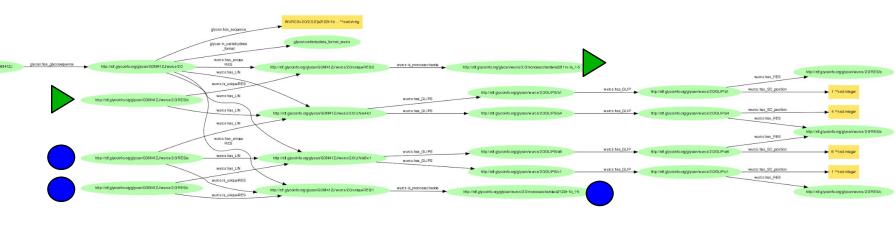
WURCS=<Version>/<Counts>/<UniqueRES>/<RES Seq>/<LIN>

## **WURCS-RDF**

- WURCSで表記した糖鎖構造から、糖鎖のRDFグラフ構造を生成することが可能
- SPARQL検索だけで部分構造 検索に利用することができる

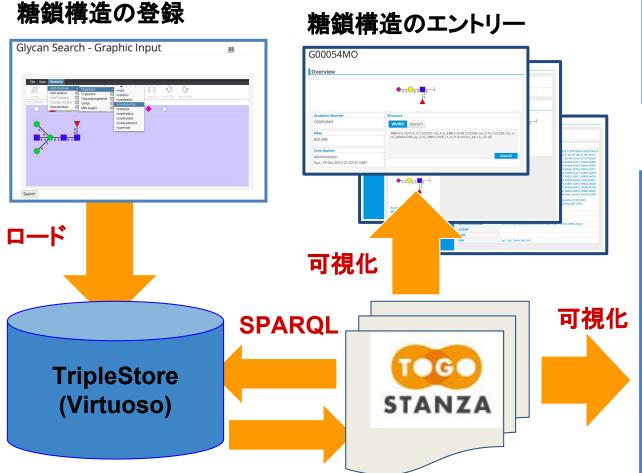


WURCS=2.0/2,3,2/[a2122h-1b\_1-5][a2211m-1a\_1-5]/1-2-1/a4-b1\_a6-c1



## GlyTouCan

現在103,037件の構造が登録済み!





### 糖鎖構造のリスト

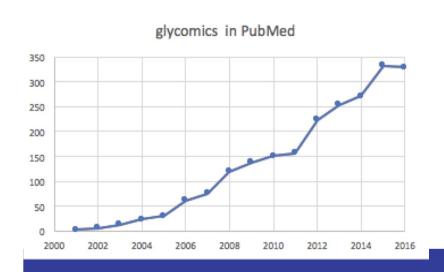


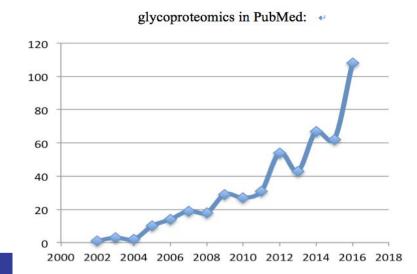
## 糖鎖に関する文献の傾向

- 糖鎖の機能は複合糖質として考慮して初めて糖鎖の機能解明につながることが明らかになってきた。
  - PubMedにおいて「glycomics」は2015年にピークを達し、「glycoproteomics」はこの2年間で倍増している。
  - 従って、糖鎖科学研究は糖鎖から 糖タンパク質を含んだ複合糖質の研究にシフト しており、今後は複合糖質のデータがより重要かつ大量に生産されることが予測される。

### 問題点:

- 糖鎖研究が未熟な学生や研究者は糖鎖について調べる場合、最新の情報を取得する方法は文献調査以外にない。
- 現状のゲノム、プロテオーム、メタボローム、リピドーム、インタラクトームなどのオミックスデータベースは複合 糖質をほとんど考慮しておらず、糖鎖科学に対する教育にも十分になされているとは言い難い。
- 従って、国内外の糖鎖研究を網羅的に整理し、既知な情報、未知な情報の実際の状況を把握するために、文献や関連データベースを統合し、ポータルサイトとして情報を提供することは急務である。





# 糖鎖関連データベースの国際的な動き

# MIRAGE

- 糖鎖関連実験情報を学術雑誌に掲載する場合の掲載項 目のガイドライン
- 糖鎖の質量分析データに関してのファイル形式などが決定 済み
- SIB GlyConnect Project(先月公開):
  - GlycoSuiteの糖タンパク質データを統合し、ヒトのタンパク質データベースNextProtと連携
- NIH GlyGen Project(8月公開予定):
  - ヒトとマウスの糖タンパク質データの統合
  - UniProt、UniCarbKBとGlyTouCanと連携
- UniCarb-DR (近日中公開予定)
  - 糖鎖の質量分析データのリポジトリ

### 



## 糖鎖研究コミュニティの要望

- 1. 糖鎖が特定の糖タンパク質やそのglycoformの立体構造と機能にどのように 影響するかについての情報を取得したい
- 2. 酵素合成において、酵素の活性やその種類、入手先の情報を取得したい
- 3. ある糖鎖構造を持つと報告されたタンパク質・脂質を取得し、組織や細胞の種類別に整理した情報を取得したい
- 4. 特定の<u>代謝やシグナル伝達経路</u>に関連する糖鎖のリストを取得したい
- 5. <u>疾患</u>で変化することが知られているグリコシル化経路中のタンパク質のリスト を取得したい
- 6. 他生物種における糖鎖遺伝子のヒト・オルソログ(相同分子種)を検索して表現型付きのSNP情報を取得したい

Glycoinformatics Consortium (GLIC)による調査結果, 2015年

## ねらい

- ・日本の糖鎖研究コミュニティの強みである糖鎖遺伝子と糖鎖構造研究について、国内の糖鎖関係の学会と連携し、<u>多くの国内外における関連知識を集約する</u>データベースとしてGlyCosmosを開発する。
- さらに、複合糖質データベース(GlyCosmosDB)を開発することで、プロテオーム、メタボローム、リピドームなどのオミックスの研究コミュニティと協働して研究開発を推進することで、より広範囲の連携を実現することが可能となる。
- 最終的には糖鎖研究に興味を持った研究者が本ポータルに訪れ、糖鎖に関する知見を容易に理解できるようになる。
  - 糖鎖遺伝子→関わっているパスウェイ、疾患、糖鎖構造、立体構造情報、複合糖質→糖鎖機能
  - 実験で確認された情報と、計算で予測された情報が格納されるため、仮説 構築や事実確認に利用可能

## 本課題における統合の概要



### Integration of life science information



**GlyCosmos Portal** 

Repositories



**GlyCosmos Database** 





### **Repositories**























LipidBank





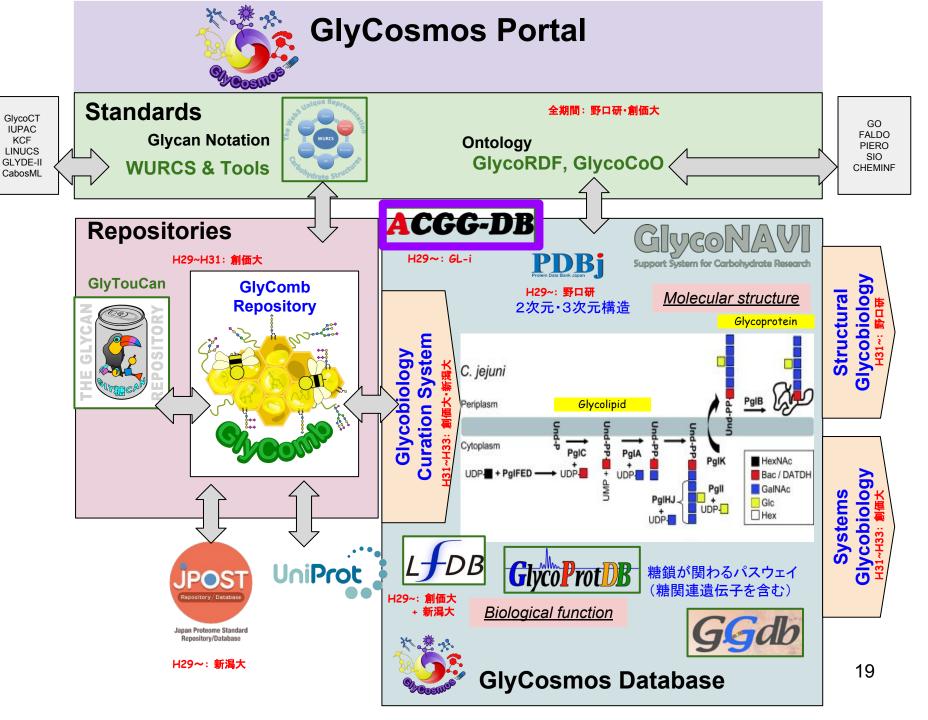






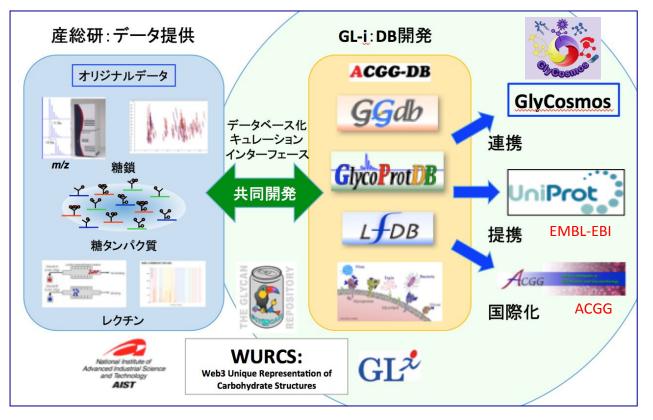


…その他



# ACGG-DBの機能拡張とGlyCosmos portal と \*\* 創価大学 の連携およびアジア地域との連携

- 糖鎖研究における日本発のオリジナルデータの収集
- Semantic Webに対応したデータやOntologyを日本及びアジアの糖質研究者に向けて、有用な情報の提供(<a href="https://acgg.asia/db/">https://acgg.asia/db/</a>にて公開)
- マウスやヒトの糖鎖データとGlyCosmos との連携による他生物糖鎖DBとの統合



### ACGG-DBの特色

200以上の糖鎖遺伝子の機能や活性を糖鎖生物学研究者がキュレーション

組織別の糖タンパク質上の糖鎖の位置と糖鎖構造を検索

糖鎖研究に有用なレクチンの糖 鎖結合性プロファイルを収載

糖鎖の構造と機能を直感的にリンクさせるViewerによる表示

## ACGG-DBの機能拡張とGlyCosmos portal との連携 およびアジア地域との連携





## **GlyCosmos Portal**

Repositories

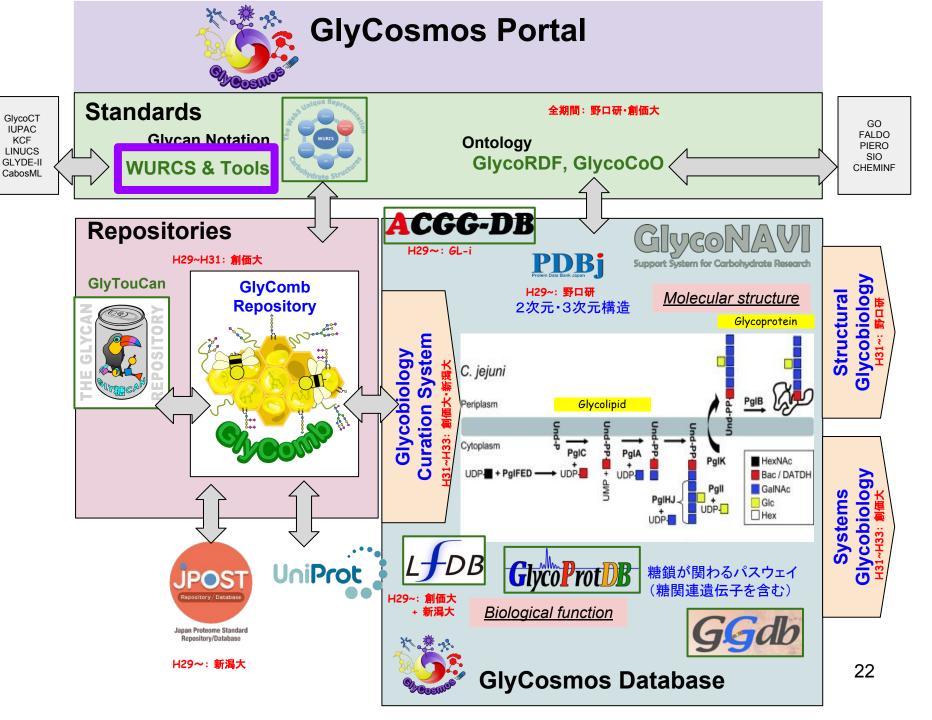
**GlyTouCan** 

**ACGG-DB** 

ヒト・マウスのデータの提供 検索などツールの拡充



DB	Data の収集	インターフェースの改良 (ツールの開発)
<b>G</b> Gdb	データアップデート(21)/ キュレーターへの論文紹介	構造からGGDBとの相互リンク Pathway - GGDB
GlycoProtDB	論文発表済みのデータ有り(3)/ GlycoRIDGEのデータ有り	Glycoform Viewer の改良 LfDBとの相互リンク
L <del>]</del> DB	新しいデータ有り/ レクチンのソース違いも追加収載	トップページと検索ページの変更 糖鎖構造の絞り込み
PACDB GDGDB	GGDontoの論文発表	GDGDBからGGDBへのリンク PACDBからLfDB, GlycoProtDBへのリンク



## WURCSの開発

バクテリアなど複雑な単糖を含む場合、単糖の置換基の曖昧さ表現が必要となる

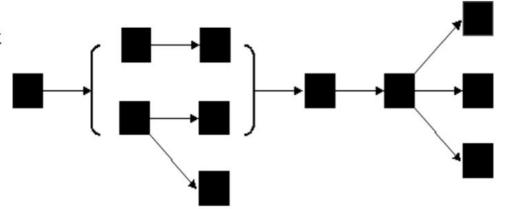
- 曖昧な置換基表現への対応

必要な曖昧表現

- OR表現
- 結合位置の候補が複数
- 位置不定の二重結合
- 繰り返し

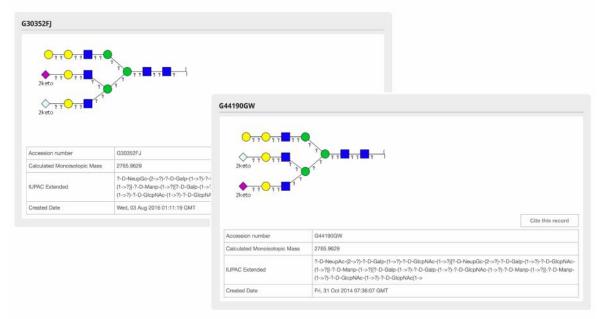
2.1.4 Subgraphs: Alternative Units (a)

Alternative units are marked in the residue list with the type identifier 'a' and a canonical number. They are further broken down in the alternative unit section (ALT).



## WURCSの開発1

- 単糖残基の順番が決まらず本質的に同じ構造の糖鎖に別なア クセション番号(WURCS)を発行する不具合の修正
- 検証作業終了後、GlyTouCanシステムへ組み込む予定

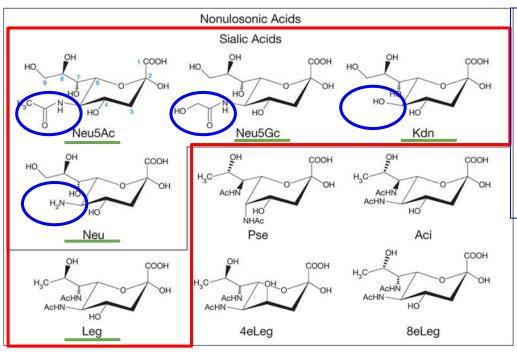


### G30352FJ,G44190GW

WURCS=2.0/5,14,13/[a2122h-1x\_1-5\_2\*NCC/3=O][a1122h-1x\_1-5][a2112h-1x\_1-5][Aad 21122h-2x\_2-6\_5\*NCCO/3=O][Aad21122h-2x\_2-6\_5\*NCC/3=O]/1-1-2-2-1-3-4-1-3-5-2-1-3-3/a?-b1 b?-c1 c?-d1 c?-k1 d?-e1 d?-h1 e?-f1 f?-g2 h?-i1 i?-j2 k?-l1 l?-m1 m?-n1

## WURCSの開発2

OR表現について: 単糖として一大ファミリーを形成するシアル酸の一般形を表記するという視点で曖昧表記の研究開発中.



考えるべき曖昧さ

・官能基のOR

-A or -B at 5th position

- 骨格の違い

[Neu|Leg]

From: Chapter 15, Sialic Acids and Other Nonulosonic Acids



Essentials of Glycobiology [Internet]. 3rd edition.

Varki A, Cummings RD, Esko JD, et al., editors.

Cold Spring Harbor (NY): Cold Spring Harbor Laboratory Press; 2015-2017.

Copyright 2015-2017 by The Consortium of Glycobiology Editors, La Jolla, California. All rights reserved. PDF files are not available for download.

NCBI Bookshelf. A service of the National Library of Medicine, National Institutes of Health.

## 糖鎖構造描画ツール

## GlycanBuilderをもとに機能を追加

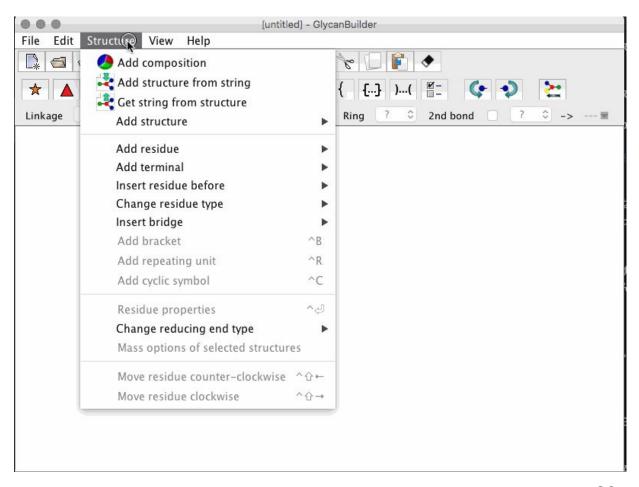
- SNFGシンボルへの対応
- 対応できる構造の追加
- WURCS入出力

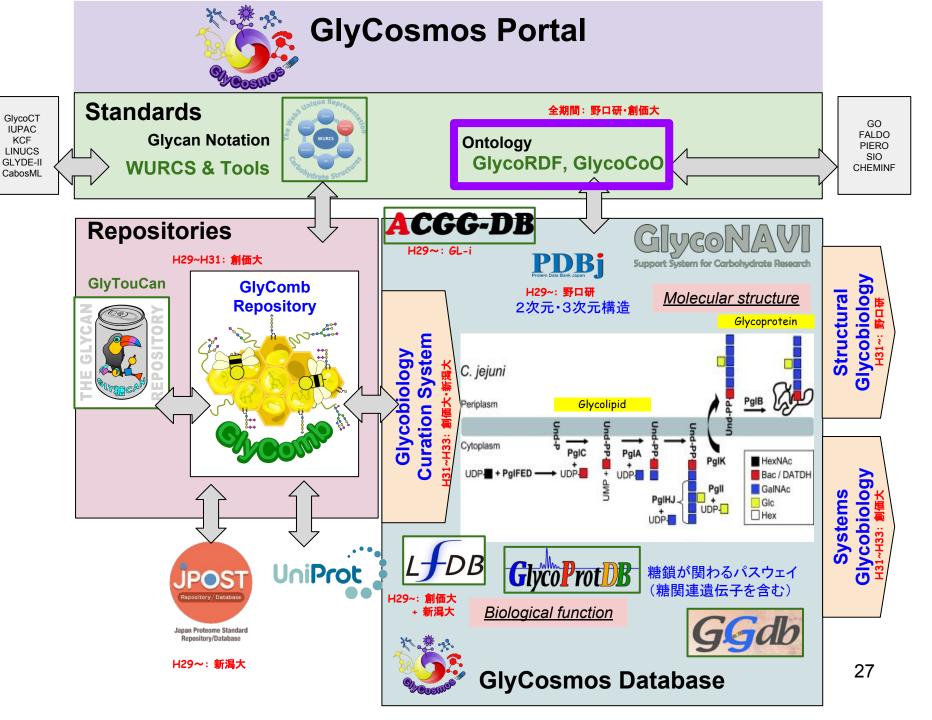




GUI

Tsuchiya, S., Aoki, N. P., Shinmachi, D., Matsubara, M., Yamada, I., Aoki-Kinoshita, K. F., & Narimatsu, H. (2017). Implementation of GlycanBuilder to draw a wide variety of ambiguous glycans. *Carbohydrate research*, *445*, 104-116.



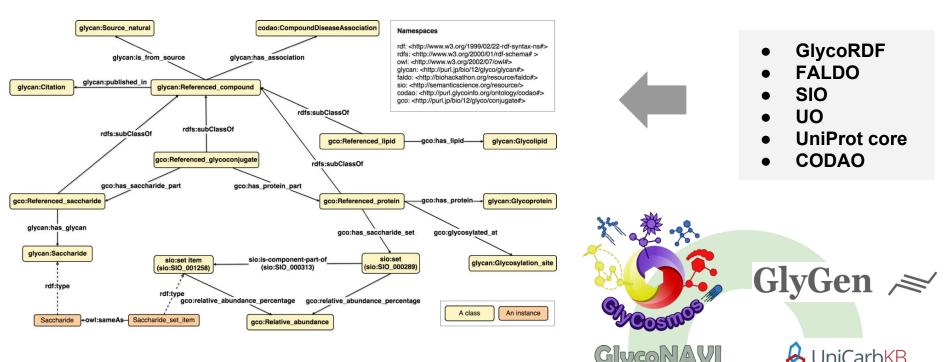


### ₩ 創価大学

## 複合糖質オントロジー

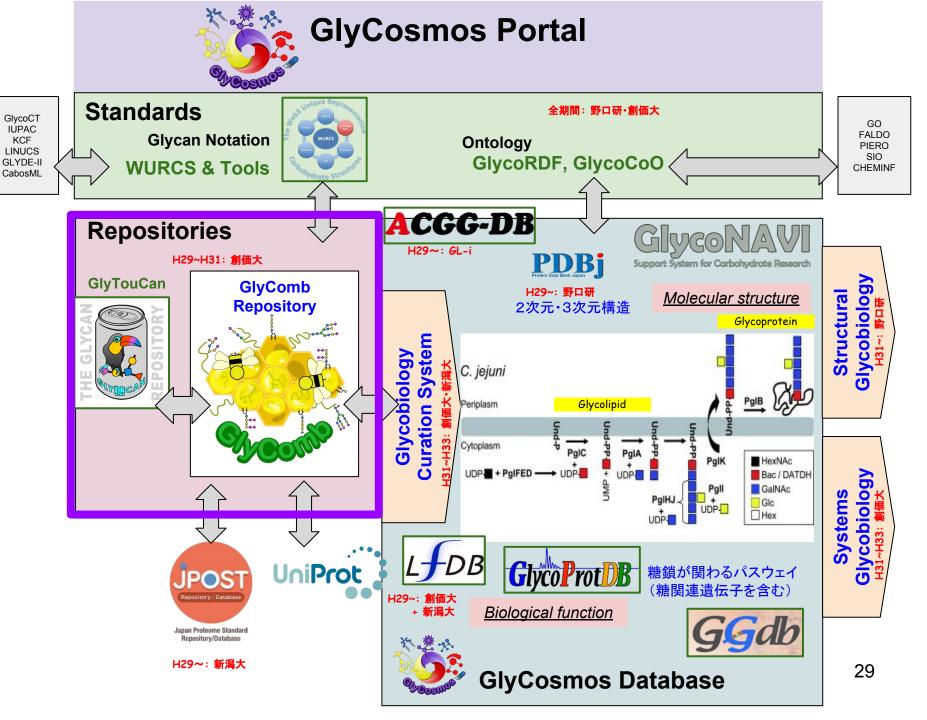
複合糖質オントロジー(GlycoCoO)を開発した。GlyCoCoOは複合糖質データ(糖タンパク質・糖脂質構造、糖鎖存在比、サンプル情報(生物種、細胞株、組織)、書誌情報、疾患情報

・糖脂質構造、糖鎖存在比、サンプル情報(生物種、細胞株、組織)、書誌情報、疾患情報 (疾患名、DOID)をRDF化するための標準オントロジです。



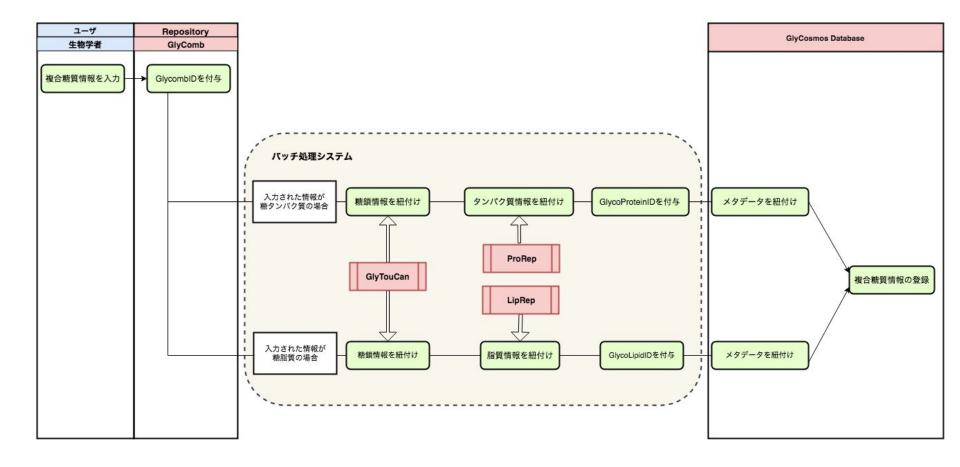
国際版バイオハッカソン、International Life Science Integration Workshopなどで共同開発





# リポジトリ→データベース連携方針

### 複合糖質構造の登録



# 複合糖質リポジトリ: GlyComb

糖タンパク質、糖脂質といった複合糖質構造に対してアクセッション番号を割り当てるリポジトリ





UniProt ID/LipidMAPS





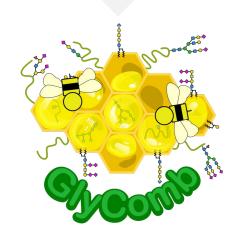
GlyTouCan アクセッション#

### 糖タンパク質の例:

P00738+184+G22340YC

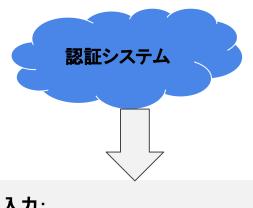
P00738+184+G74508NJ

P00738+207+G73006TR

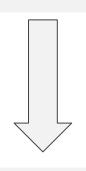


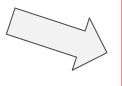
## GlyComb登録システム

入力から登録完了までの処理を開発中



入力: P00738+184+G22340YC





### 内部レポジトリ

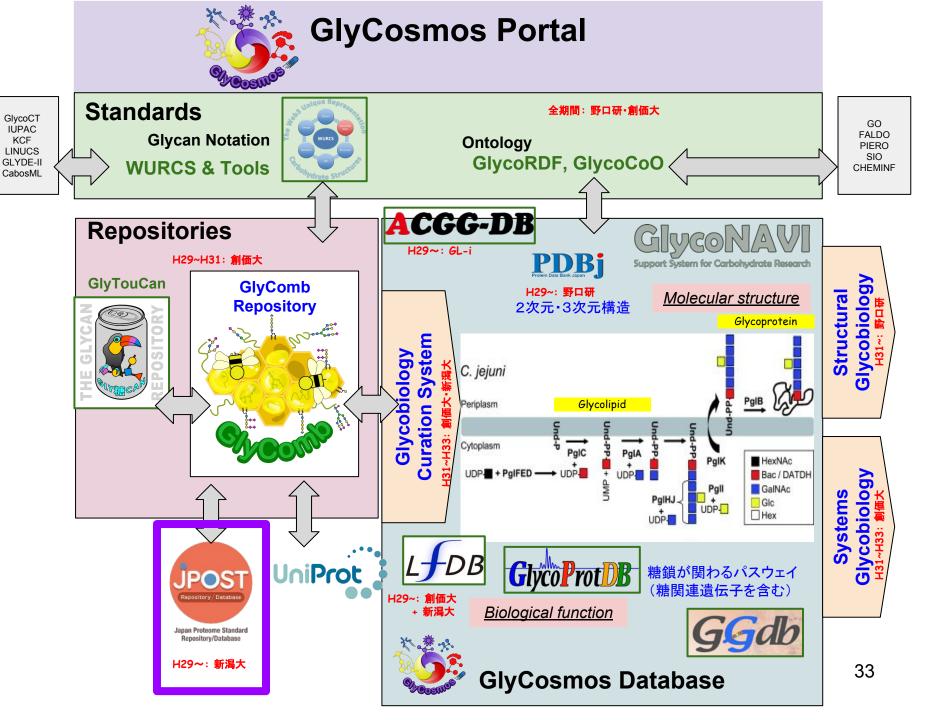
- \*ProRep:アミノ酸配列リポジトリ
- \*LipRep:脂質リポジトリ



\* 登録された時点の配列を保持するため、内部でリポジトリを設置

### 登録(SHA256ハッシュ値):

95723b585bfd79ac6cb50473c1d4492c0ce9f29f4a9a485beed3a58c63835a2d



## **GlycoPOST**

## グライコプロテオミクス関連実験から得られた 質量分析データのためのリポジトリ

実験から得られた生データ(ファイル)と、実験条件などのメタデータを収載する。



ガイドラインに準拠

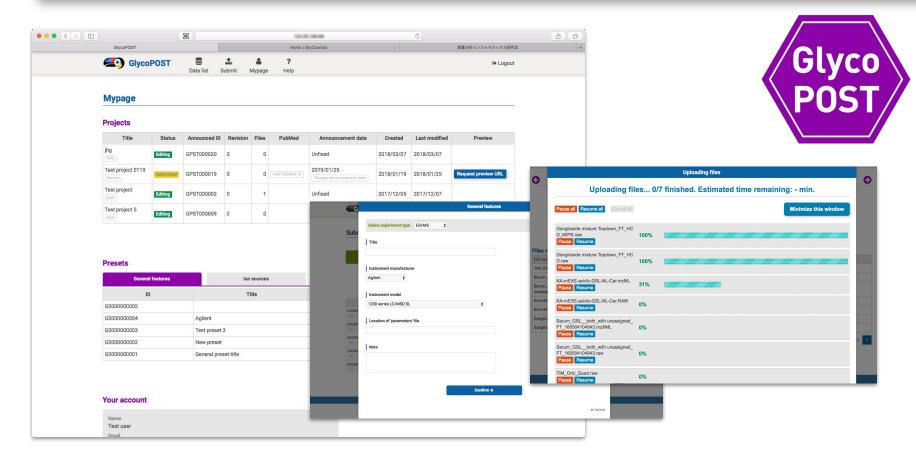


継承•連携



メタデータの入力方法や関連するデータの相互参照方法について、MIRAGE、 jPOSTの両プロジェクトと連携しながら開発を進めている。

## Webアプリケーション概要



入力内容の再利用やファイルの高速転送などの機能を備えており、ユーザーの手間を軽減しながら有用なデータを収集することを目指している。

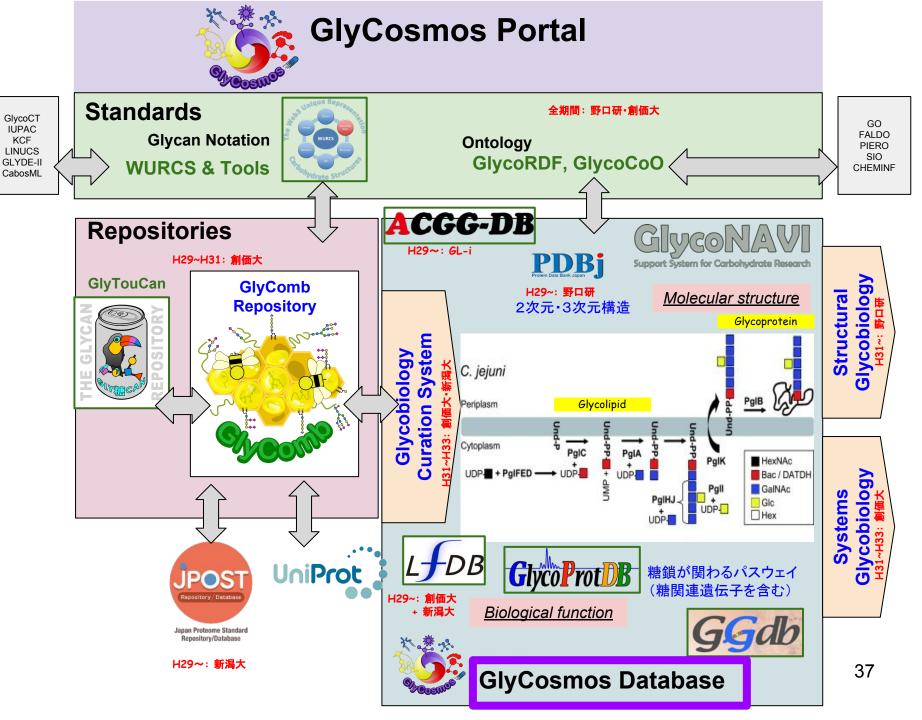
## 実験条件の入力を効率化

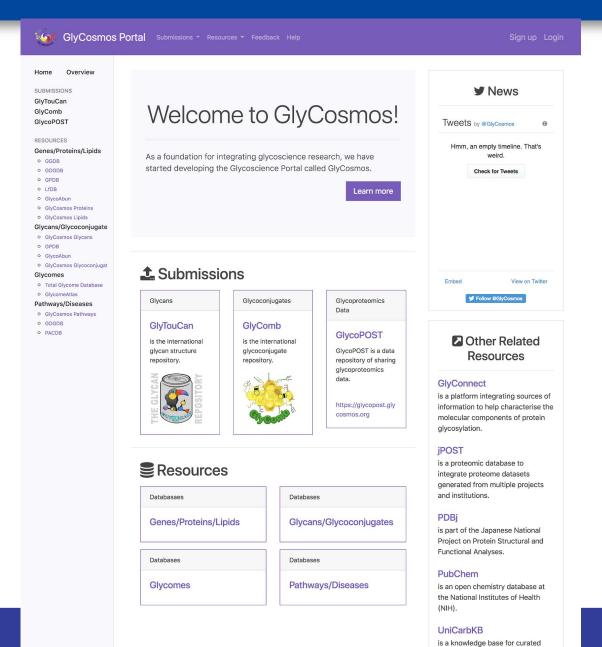
- MIRAGEガイドラインに準拠しており、UniCarb-DRと相互に 入力データのインポート・エクスポートが可能である。
- 衆知のオントロジーやボキャブラリーから選択・予測入力させることにより、研究者による表現のばらつきをなくし、検索・再利用を容易にする。
- 実験機器に付属のソフトウェアが出力するファイルから実験プロトコルを読み取り、一部のメタデータを自動的に入力する機能を開発中。





研究者、MIRAGE・UniCarb-DR関係者と意見交換しながら開発を進めている。



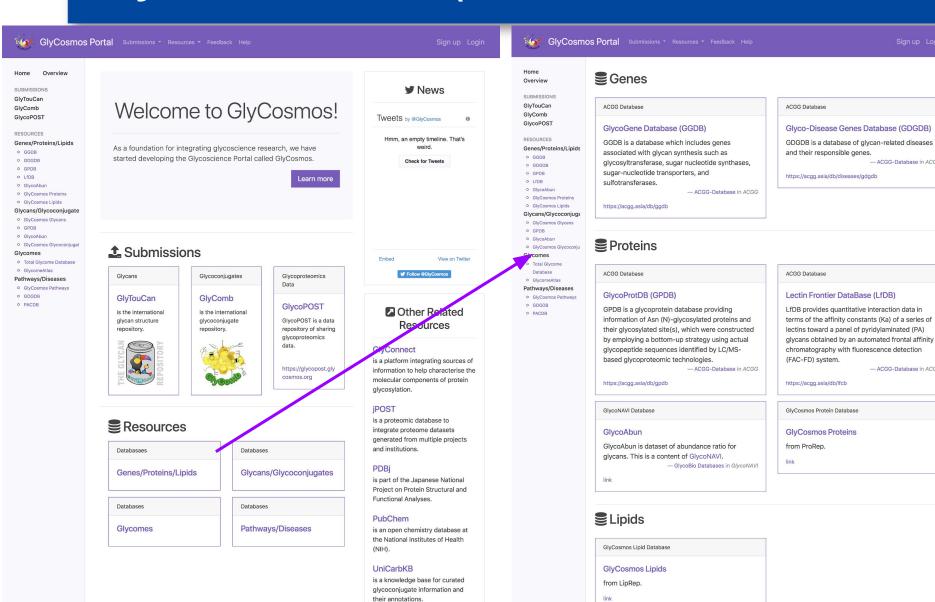




- ACGG-Database in ACGG

- ACGG-Database in ACGG

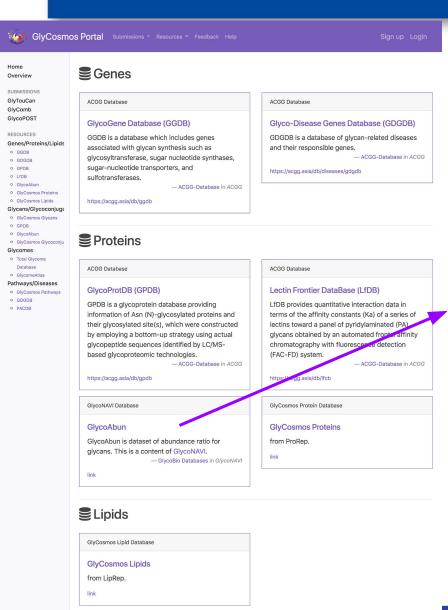
## GlyCosmos Portal (テスト環境)

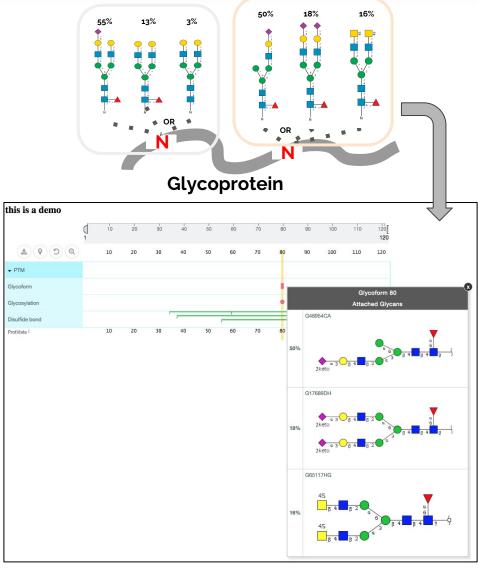


is a freely available, comprehensive resource of high quality protein

Twitter GitHub API

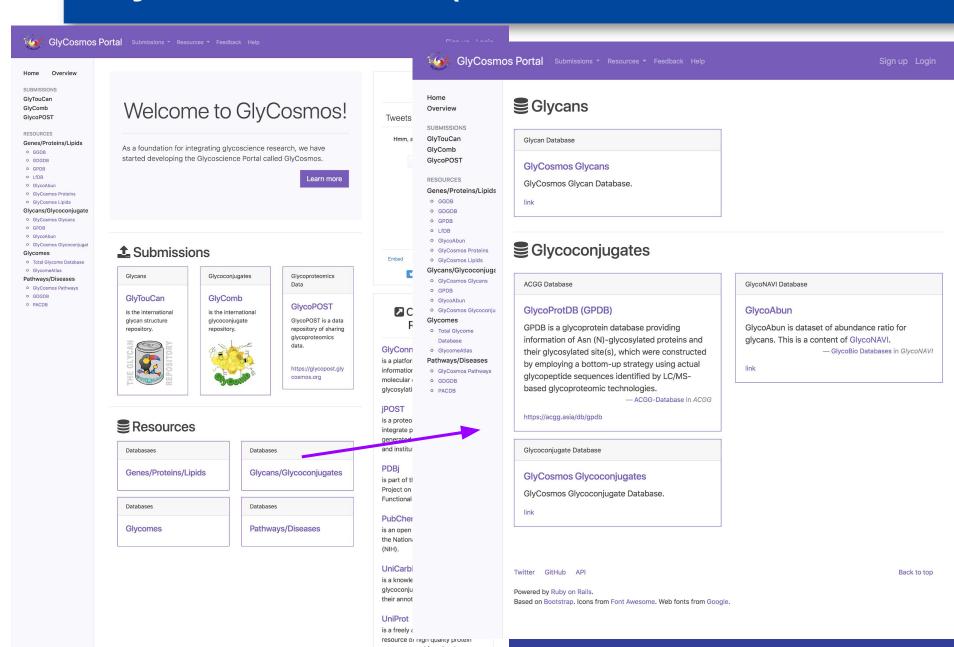




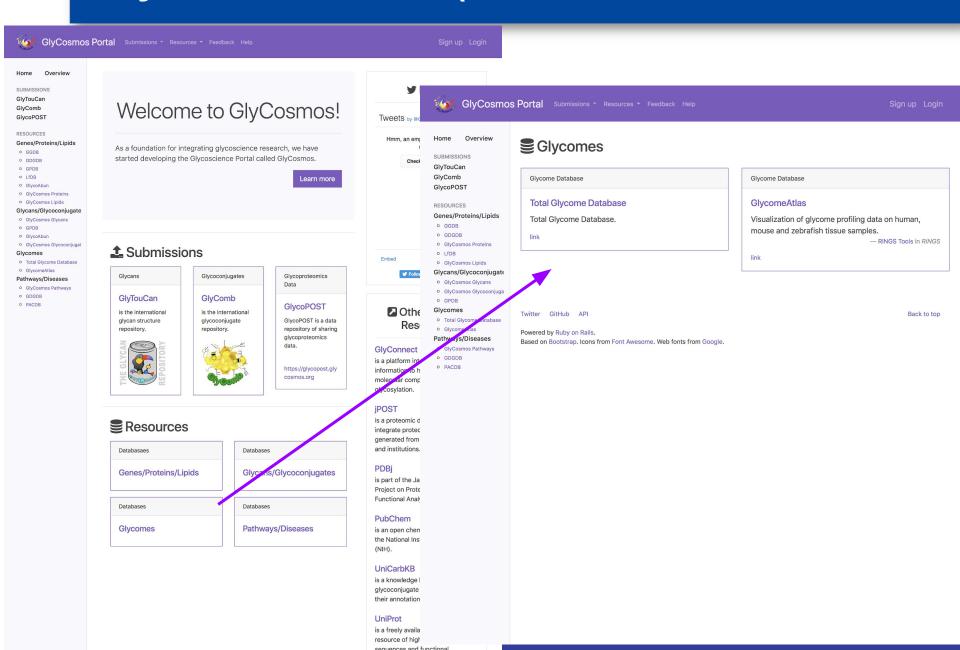


Twitter GitHub API







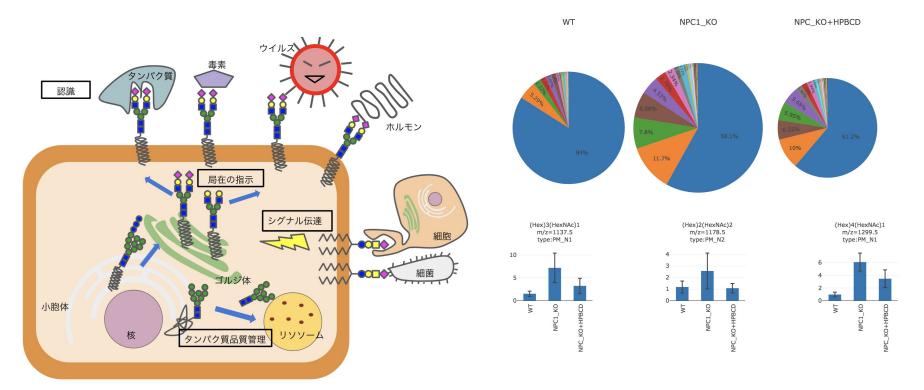




# **Total Glycome Database**

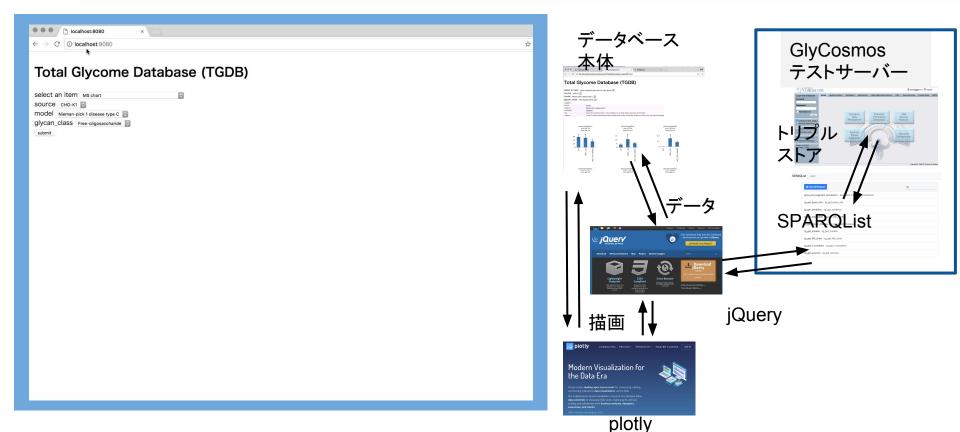
Total Glycome (総合グライコーム):

N結合型糖鎖, O結合型糖鎖, スフィンゴ糖脂質糖鎖, グリコサミノグリカン, 遊離糖鎖といったほぼ全てのクラスの糖鎖を網羅的に解析する手法. (Kagaku to Seibutsu 53(9): 586-592 (2015))





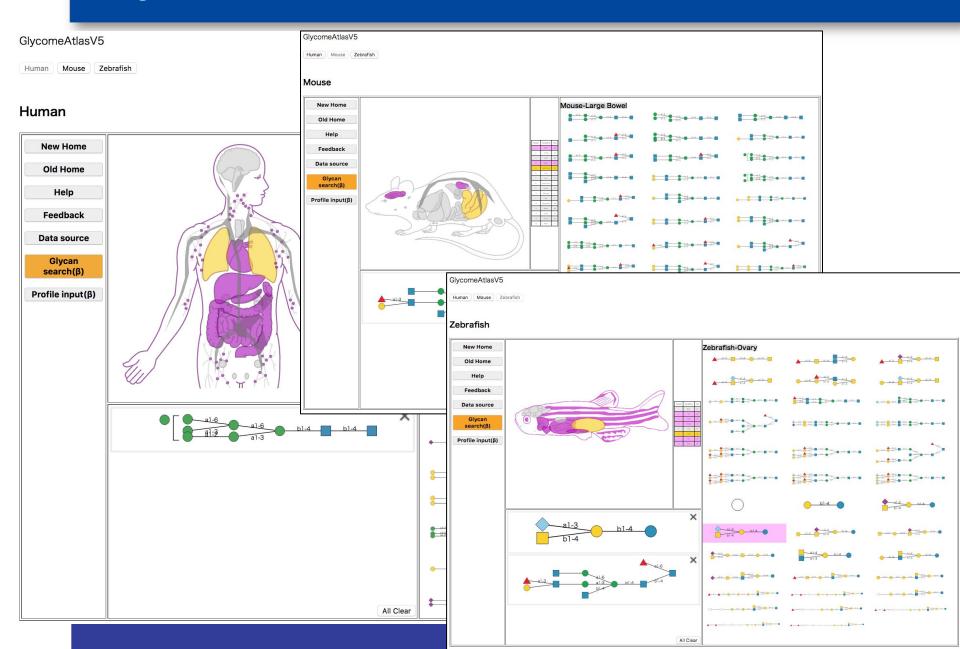
# Total Glycome Database



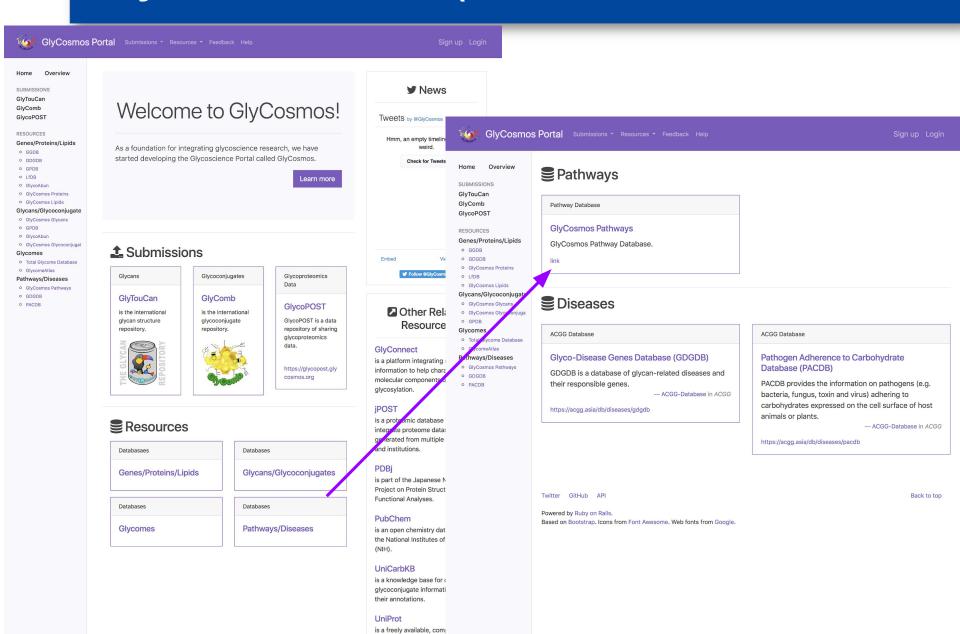
出版されている実験結果をデータベース化(試験公開中), 近い将来パスウェイとの連携を はかる.

データ: Furukawa et al, J. Proteome Res. 16: 2802-2810 (2017)

## **GlycomeAtlas**







resource of high quality (

# GlyCosmos Pathway

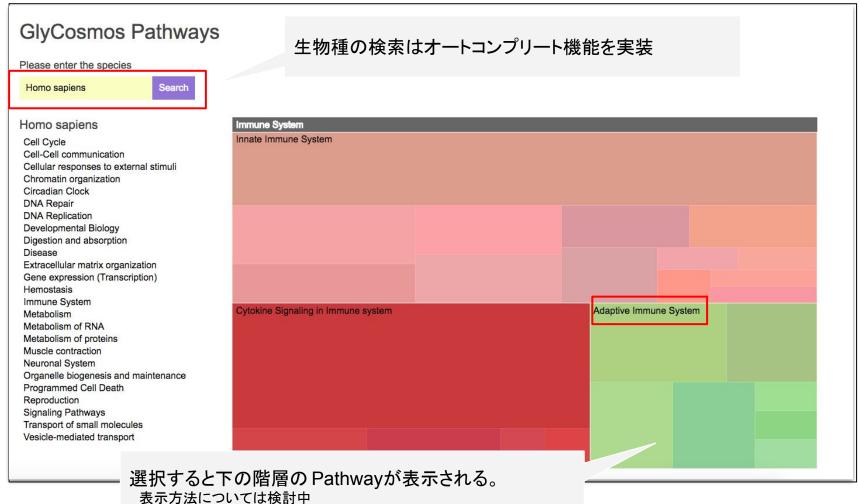
## 糖タンパク質が関与するPathwayを表示する機能の開発

- •Reactome (Ver. 63) のデータ収集 Uniprotから抽出した33,134個の糖タンパクのリストをもとに、糖タンパク質が関与する7,151個のPathwayの情報をRDF形式で取得
- Pathwayの一覧表示
   SPARQListおよびd3sparqlを用いて、生物種ごとのPathwayリストを表示させる機能を作成

### ₩ 創価大学

## GlyCosmos Pathway

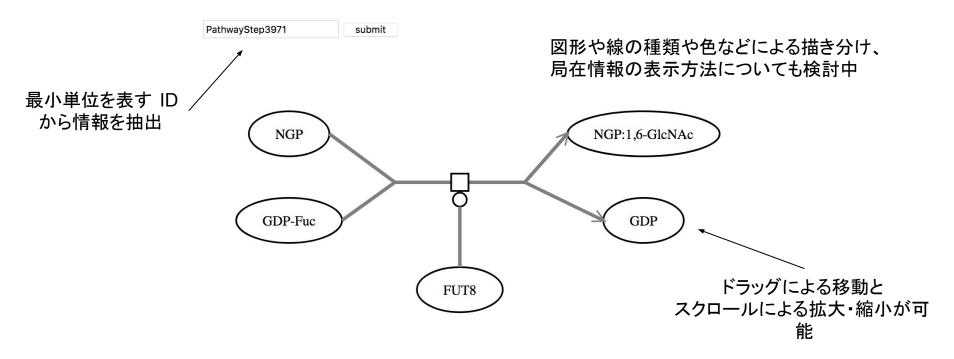
### Pathwayの表示 (テスト環境)



# GlyCosmos Pathway

## PathwayViewer(開発中)

• 最小単位の反応を(RDF から情報を抽出して)描画



 Pathway 単位で描画できるようにし、Pathway リストから一つを 選ぶと、その図が表示されるように拡張中

## 計画時の達成目標

#### ~第3年次末

- GlyCosmos Portal:
  - GlyCombが稼働、糖タンパク質を登録し、アクセッション番号を取得可能
- GlyCosmos Database:
  - 微生物のゲノム情報より糖鎖関連遺伝子を抽出し、糖転移酵素を糖鎖構造とリンクし、GlyTouCan やパスウェイ情報と統合したユーザーインターフェースが開発済
  - BCSDBに格納されている半分以上の糖鎖構造に対する合成しうる遺伝子を GlyCosmosから公開
  - GlycoProtDBおよび全PDBデータ中の糖鎖構造とのリンクとStanzaによる可視化が完成

#### <u>~第5年次末</u>

- GlyCosmos Portal:
  - GlyTouCanおよびGlyCombリポジトリの利用が普及し、各国からユーザーが利用
  - 複合糖質の情報から糖鎖の合成パスウェイおよび糖転移酵素とリンクし、ゲノムとの関係がわかるユーザーインターフェースが完成
  - GlyCosmosは日本糖質学会の公式データベース
- GlyCosmos Database:
  - 植物のゲノム情報より糖鎖関連遺伝子を抽出し、糖転移酵素を糖鎖構造とリンクし、 <mark>糖鎖に関連する</mark> パスウェイを検索しやすいユーザーインターフェースが開発済
- キュレーションシステム:
  - N型糖鎖とO型糖鎖のパスウェイが網羅していて、一般ユーザーがコメントを投稿でき、 キュレーターが編集を記録できるシステムが完成

### 研究開発進捗(1/3)

### GlyCosmos Portal設計:完了

- ・アクセッション番号発行システム設計:完了
- GlyComb、LipRep、ProRep設計:完了
- •GlyCosmosDB設計:完了
- 認証システム設計:完了

### GlyCosmos Portal開発:

- •GlyComb開発:途中(50%)
- ・GlyTouCanの改良・拡張: 保留
- 認証システム開発:途中(80%)
- ・バッチ処理システム:未着手
- ·メインUI·完了

### GlyTouCanの改良:

・GlyGenやその他のユーザーによるフィードバックに対応する必要がある

### 研究開発進捗(2/3)

### GlyCosmos Database開発:

- ・糖鎖関連パスウェイ:
  - 一 収集・整理:完了
  - ー ウェブコンポーネント開発:途中(10%)
- 糖タンパク質:
  - 一 収集・整理:途中(10%)
  - ウェブコンポーネント開発:途中EBI-ProtVista改良(EBIと連携中):50%新規ウェブコンポーネント:未着手
- •糖脂質
  - 一 収集・整理・ウェブコンポーネント開発:未着手
- •糖鎖関連遺伝子:
  - 一 収集・整理・ウェブコンポーネント開発:未着手
  - ※今年の国際バイオハッカソンにCAZyのバイオインフォマティクス専門家を招聘し、一緒に着手する予定

### 研究開発進捗(3/3)

### 今年度の主な予定:

- -ACGG-DBとの具体的な連携
  - SPARQL endpointの公開
  - ー UIの仕様
- •10月公開予定
  - Scientific Advisory Boardのフィードバック
- -12月国際バイオハッカソン
  - 糖鎖遺伝子の整理(with CAZy)

### 次年度の予定:

- キュレーションシステムの開発
- ・ユーザーフィードバックによるさらなるUIの改善
- GlyGen、GlyConnect、UniCarb-DRとの確実な連携

# GlyCosmosで期待する効果

- 糖鎖科学研究から生成される情報を格納する基盤を構築 し、研究を促進
- 糖鎖研究の初心者でも糖鎖について容易に調べられる ポータルを作成し、幅広い分野の研究者が利用
- 技術的には、興味・ターゲットのデータを調べるための使い やすいユーザーインターフェースを構築
- データは全て RDFで連携することで、海外のEndpointとの 同時検索が可能となる。また海外のGlyGenやGlyConnect ともGlyCosmosのデータを相互に共有可能

### ₩ 創価大学

# GlyCosmosの国際連携

